



2022年11月15日

各位

会社名 株式会社サイバーセキュリティクラウド
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘
 (コード番号：4493 東証グロース)
 問合せ先 取締役 CFO 倉田雅史
 (TEL. 03-6416-9996)

2022年12月期第3四半期決算説明会 質疑応答要旨

この質疑応答集は、2022年11月15日に開催いたしました2022年12月期 第3四半期決算説明会（機関・個人投資家向け）にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。なお、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

<ご参照>[2022年12月期 第3四半期 機関・個人投資家向け決算説明会動画](#)

質問：例年だと4Qに多額の広告宣伝投資を行っておりますが、今年も4Qに大きな投資を予定していますか？

回答：前期、前々期は広告宣伝投資が4Qに偏っておりましたが、今期に関しては期初からお伝えしているとおり、年間を通して満遍なく投資を実行していることから、現時点で4Qに多額の投資を行うことは想定しておりません。また、通期業績予想の通り、売上高・営業利益ともに達成できるように進めてまいります。



質問：経常利益が3Q累計で前年比割れしていますが、今回の業績についてどのように評価していますか？

回答：2021年12月期3Q累計（連結）と、2022年12月期3Q累計（単体）の経常利益を比較すると減益のように見えますが、2022年12月期3Q累計（単体）には、吸収合併したソフテックの1Q業績が含まれていないため、前年同期比は、Bに記載の連結決算を継続した場合の業績と比較する必要があります。
結果として、前年同期比で営業利益+0.2%、経常利益+5.3%、四半期純利益+14.1%と増益で着地しており、順調に成長を続けていると考えております。

業績の概況				
(百万円)	A (連結) 2021年12月期 3Q累計	(単体) 2022年12月期 3Q累計	B 【参考】 連結決算を継続 した場合の業績 [※]	BとAの比較 前年同期比
	売上高	1,319	1,626	1,692
売上総利益	929	1,149	1,192	+28.4%
営業利益	285	258	286	+0.2%
営業利益 (%)	21.7%	15.9%	16.9%	-4.8pt
経常利益	285	276	300	+5.3%
四半期純利益	189	217	216	+14.1%

※ 2022年12月期2Qにソフテック社を吸収合併したことに伴い、単体決算に移行しております。
2022年12月期2Qまで連結決算を継続していたと仮定した場合の業績（ソフテック社の1Q業績を積み込んだ業績）を記載しております。

(C) Cyber Security Cloud, Inc. 2022 5

また、参考情報のPLに記載しておりますが、売上高はもちろん、営業利益が四半期ベースで過去最高益を記録し、着実に利益も計上しております。

(参考情報) 損益計算書												
(百万円)	FY2020				FY2021				FY2022			
	単体 1Q	単体 2Q	単体 3Q	単体 4Q	連結 1Q	連結 2Q	連結 3Q	連結 4Q	連結 1Q	単体 2Q [※]	単体 3Q	
売上高	260	283	313	336	420	433	466	498	523	563	604	
売上原価	90	90	95	100	125	124	139	145	154	161	183	
売上総利益	170	192	217	235	294	308	326	352	369	401	421	
販管費及び 一般管理費	126	131	153	201	203	206	233	340	272	329	304	
営業利益	43	61	64	34	90	102	92	11	97	71	117	
営業利益率	16.6%	21.6%	20.5%	10.3%	21.6%	23.6%	19.9%	2.3%	18.6%	12.7%	19.4%	
経常利益	32	60	63	30	92	100	92	12	100	53	146	
当期純利益	27	50	53	17	59	68	61	-19	72	59	84	

※ 2022年12月期2Qにソフテック社を吸収合併したことに伴い、単体決算に移行しております。
2022年12月期2Qまで連結決算を継続していたと仮定した場合の業績から、2022年12月期1Qの業績を差し引いた数値を記載しております。

(C) Cyber Security Cloud, Inc. 2022 14

質問：AWS ISV Accelerate プログラムに認定されるとどのようなメリットがありますか？また、サイバーセキュリティサービスとして日本初とのことですが、なぜ御社は実現できたのでしょうか？

回答：AWS ISV Accelerate プログラムに認定されることによるメリットは、AWS 社から正式に Managed Rules を信頼できるサービスとして認定されたことにより、①AWS との共同販売が可能となった点、②マーケットプレイス掲載料が割引になることによるコスト削減が可能な点が挙げられます。

これらによって、AWS 主催のイベントへ出展しやすくなるなど、認知度拡大が期待できるだけでなく、世界中の AWS 担当者が当社の Managed Rules の販売活動を行うインセンティブが付加されました。2025 年に向けた成長戦略の中で掲げるグローバル展開において大きなステップになると考えております。

また本プログラムに認定される条件は 2 点あり、「①販売実績」「②エンドユーザーからの評価」です。当社の Managed Rules は、世界で 90 以上の国／地域において 3,000 を超えるユーザーに利用いただいております、この実績を認めていただいたと認識しております。更に、当社の Managed Rules は技術的な審査をクリアしており、エンドユーザーからも高い評価を受けていると考えております。

技術的な側面だけでなく、長年 AWS マーケットプレイスで販売してきた実績が、AWS との関係性が信頼につながり、結果としてサイバーセキュリティサービスとして日本初の認定を受けることができたのだと考えております。

日本初のAWS ISV Accelerateプログラム認定を取得。

● 2025年に向けた成長戦略達成に向け、様々な施策を実行中
● ISV認定の取得を弾みに、AWSとの関係を更に強化し、グローバル売上高拡大を狙う

～2022年2Q

- ①AWSによるWafCharmのSolution Brief作成（チラン）
- ②AWS WAFパートナーサイトにて世界で2社目となるCase Study公開

2022年3Q

Managed Rulesがサイバーセキュリティサービスとして日本初のISVに認定

AWSによる強力なサポート

- ・AWSとの共同販売が開始（売上拡大）
- ・マーケットプレイス掲載料割引（コスト削減）

※「AWS ISV Accelerateプログラム」とは、プログラムに参加する独立系ソフトウェアベンダー（ISV）とAWS社による共同販売プログラムのこと。サイバーセキュリティサービスにおいて、当社が日本で初めての認定を取得。

(C) Cyber Security Cloud, Inc. 2022 19

質問：今回追加したラベル機能とは、どのようなものですか？

回答：Managed Rules において、新たにラベル機能を追加しております。当社が提供する WAF は、ハッカーの様々な攻撃を防ぐために、様々な種類の防御ルールが必要となります。Managed Rules は、細かいチューニングを必要とせず、一般的な攻撃からウェブサイトを守る使い勝手が良いリーズナブルな製品です。従来から、個別にカスタマイズをしたいというご要望をいただいておりますが、AWS の仕様上、限界がございました。先日発表された AWS の機能アップデートにより、カスタマイズが可能となり、当社は WAF のルールを提供するサードパーティとして、いち早く細かなカスタマイズができる機能を開発いたしました。

ラベル機能対応～Managed Rulesセラーで世界初～



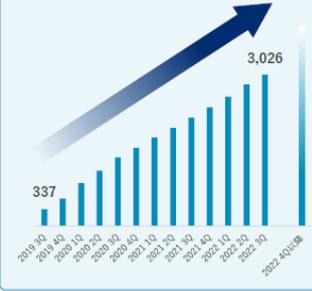
- AWS WAF の機能アップデートに、当社は世界最速で対応
- グローバルの競合他社との差別化を図り、更なるユーザーの獲得を狙う

アップデート内容

防御力を保ちながら、誤検知対応が可能となるカスタマイズ機能を開発



更なるユーザー拡大へ



Quarter	Number of Users
2018 Q4	337
2019 Q1	400
2019 Q2	450
2019 Q3	500
2019 Q4	550
2020 Q1	600
2020 Q2	650
2020 Q3	700
2020 Q4	750
2021 Q1	800
2021 Q2	850
2021 Q3	900
2021 Q4	950
2022 Q1	1,000
2022 Q2	1,050
2022 Q3	1,100
2022 Q4	3,026

© Cyber Security Cloud, Inc. 2022 18